

門司メディカルセンター 地域医療連携室だより



新年のご挨拶

皆さま、新年明けましておめでとうございます。門司メディカルセンター事務局長の畠山です。日頃からたくさんの患者さんのご紹介をいただき、心より感謝申し上げます。

2023年は「癸卯（みずのとう）」の年で「癸：恵みの水・新たな生命」と「卯：温和・跳ね上がる」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると考えられます。

2020年1月に始まった新型コロナウイルス感染症との闘いも3年が経過しようとしています。この間、当院も発熱外来の開設や地域包括ケア病棟の転換によるコロナ専用病棟の開設、近隣医療従事者へのコロナワクチン接種など、公的医療機関、また地域医療支援病院として、可能な限りの対応をして参りました。

ただ、コロナの波のピークが来るたびに、診療制限せざるを得ない状況を繰り返しており、皆さまにはその都度、ご不便をお掛けいたしておりますことは大変申し訳なく、またこれまでの当院のコロナ対応について、ご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、「癸卯」の年の当院の新規の取り組みをご紹介します。まず、①皆さまからご紹介いただいた患者さんの症例を検討します「紹介症例検討セミナー」を門司区医師会様との共催で、この1月より月1回開催して参ります。毎月最終木曜日の19:00から1時間程度を予定しており、会場は当院7階の大会議室となりますが、事前のお申込みによりWEBでの参加も可能となります。次に、②皆さまと当院をつなぐ「循環器内科ホットライン」と「脳卒中ホットライン」を本年1月10日（火）より開設しております。時間帯は平日の8:30~17:00となりますが、それぞれ循環器内科医師と脳神経外科医師が直通電話にて対応いたします。診断に迷われた時や治療相談などお気軽にご相談いただければと思います。3つ目として、③地域住民の皆さま向けの「市民公開講座」の開催です。今年1回目は2月を予定しており、準備が出来次第、ご案内することとしております。

今年もコロナとの闘いは続くこととなります。皆さまと当院との医療・介護の連携が、地域住民の皆さまの命を守るセーフティネットであり続けられるよう、院長はじめスタッフが一丸となって日々邁進して参りたいと思っております。

皆さま方におかれましても本年が飛躍の年となりますことを心より祈念いたしております。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



門司メディカルセンター
事務局長 畠山 泰之



循環器内科ホットライン・脳卒中ホットラインを開設!!

令和5年1月10日(火)より、「循環器内科」と「脳卒中」のホットラインを開設いたしました。

いつもたくさんの患者さんのご紹介をいただき、誠にありがとうございます。

この度、循環器疾患の緊急の受け入れ、診断及び治療のご相談のニーズにお応えすべく「循環器ホットライン」を開設いたしました。

平日 8:30~17:00 の時間帯であれば、下記の電話番号におかけいただくと、直接循環器内科医師へと繋がります。急性冠症候群や、急性心不全など緊急を要する患者様の搬送依頼はもちろん、診断に困った症例や治療方針に関するご相談など、お気軽にお電話ください。循環器専門医が速やかに対応させていただきます。また、救急隊からの循環器疾患が疑われる患者さんの搬送依頼も直接ホットラインからお受けいたします。

門司地区における循環器治療を円滑に進めるべく、精進して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

 専用ダイヤル 080-8860-6823

循環器内科部長 渡部 太一



屏部長 渡部主任部長 谷口部長
渡邊副部長 中原医師



日頃から患者さんのご紹介をいただき、厚く御礼申し上げます。この度「脳卒中ホットライン」を開設いたしました。平日 8:30~17:00 の時間帯に、下記の電話番号におかけいただければ、私たち脳神経外科医が直接対応いたします。

脳卒中は、発症からの時間が最重要視され、24 時間体制で最適の治療を行っています。

- ①脳梗塞：t-PA 療法をはじめ血栓回収術を含めた集約的治療、慢性虚血閉塞性疾患に対してはバイパス手術や頸部内頸動脈剥離術ならびに頸部ステント術、経皮的血管形成術等を行っています。
- ②脳出血：緊急開頭血腫除去術を含めた外科的加療をはじめ、内科的集約的治療も行っています。
- ③くも膜下出血：直達手術(クリッピング術)だけでなく脳血管内手術(コイル塞栓術)も行っています。
- ④未破裂脳動脈瘤をはじめ、血管内治療も実績を上げています。

軽症でも、お気軽にご相談ください。

 専用ダイヤル 090-7271-5653

脳神経外科部長 太田 浩嗣



橋田医師 太田主任部長 武田医師



新年明けましておめでとうございます。コロナ禍は、未だに猛威を奮っていますが、皆様のお役に立てるように頑張っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

PFM 医事課長 小関 浩文

コロナ禍で入院中の面会制限は続きそうです。ご家族と会えないため在宅復帰を希望される方が増えております。訪問診療等をご相談させていただきますので、ご協力お願いいたします。入退院支援患者サポートセンター看護師

野副 可奈子

地域医療機関の方々との情報交換を大切にし、お役に立てよう頑張っていきます。

事務 川野 美穂

大変お世話になっております。本年もよろしくお願いいたします。入退院支援患者サポートセンター看護師

秋本 眞水

いつもご紹介ありがとうございます。迅速かつ丁寧な対応を心掛けてまいります。本年も宜しくお願い致します。

事務 上田 英理子

本年も、顔の見える連携を大切に、地域の皆さんに必要とされる医療機関であり続けられるよう努力してまいります。

入退院支援患者サポートセンター看護師長

古賀 さとみ

あけましておめでとうございます



今年もよろしくお願いいたします。入退院支援患者サポートセンター看護師

岡本 紀美子

他医療機関・施設との連携を深め、迅速な対応を心掛けます。

事務 小山 眞純

本年も、迅速かつ丁寧な対応を心掛けてまいります。

事務 本田 美穂

今年もコロナと共存しながら、地域の皆様のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。

MSW 桂川 陽子

入院時の情報が活かされるように努力していききたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

入退院支援患者サポートセンター看護師

村枝 絹代

あけましておめでとうございます。今年もマイナンバーカードの保険証利用や電子処方箋など国が電子化の導入を推進しています。当院も電子化への対応を進めていきますので、何卒よろしくお願いいたします。

医事係長 池田 陽介

2023年の干支、癸卯(みずのと・う)は、寒さが和らぎ、芽生える意味があります。みんなで力を合わせてコロナ第8波を乗り越え、ウィズコロナの医療を切り拓いていきましょう。

入退院支援患者サポートセンター長 大西 英生

平素より大変お世話になっております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

MSW 前原 知香

本年もよろしくお願いいたします。

事務 片山 康雄

紹介症例検討セミナーについて

今月より、連携医療機関からご紹介いただいた患者さんにつき検討する「紹介症例検討セミナー」を、毎月開催いたします。第1回は1月26日（木）19時より、糖尿病・血液・膠原病内科の2症例を提示いたします。当院7階の大会議室で開催しますが、事前のお申込みによりWebでの視聴も可能です。ぜひご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

地域医療連携室 課長 小関 浩文

新任医師紹介



脳神経外科に赴任した橋田 篤知(はしだ あつとも)と申します。これまで、兵庫県の赤穂中央病院で2年間の初期研修を経て、産業医科大学で研鑽を積み、この度はじめて門司地区で働かせていただくことになりました。

まだまだ至らぬ点もございますが、患者さんに寄り添える医療を目指して頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

病院理念

働く人々と地域の人々の健康管理を支援し信頼される医療を提供します。

発行 独立行政法人 労働者健康安全機構 九州労災病院門司メディカルセンター 地域医療連携室

☆直通の連絡先

〒801-8502 北九州市門司区東港町3番1号

TEL : 093-332-7616

FAX : 093-331-3466

PHS : 093-332-1250 (地域医療連携室担当看護師)

室長	大西 英生		
課長	小関 浩文		
事務	池田 陽介	上田 英理子	川野 美穂
		小山 真純	本田 美穂
		片山 康雄	
MSW	桂川 陽子	前原 知香	
	大石 夏喜		

入退院支援患者サポートセンター看護師長	古賀 さとみ
入退院支援患者サポートセンター看護師	野副 可奈子
	岡本 紀美子
	村枝 絹代
	秋本 眞水

